

2025年(令和7年)11月16日(月曜日)

青少年の主張

夢や提言高らかに

青少年育成
大館市民会議

小学～短大7人が登壇



夢や提言を発表する児童(大館市中央公民館)

青少年育成大館市民会議(佐藤照雄会長)の「青少年の主張」が15日、市中央公民館で行われ、市内の中小学生や高校短大生計7人が自らの夢や街づくりの提言などを高らかに発表した。市小・中学校PTA連絡協議会など共催、北鹿新聞社など後援。未来を担う青少年の健全育成を願い、「大館市の明るい未来にむかって」を主題に開催した。

発表者は石田京さん(桂城小6年)、田中佐歩さん(長木小同)、山内優樹さん(上川沿小同)、黒田美緒さん(成章中3年)、長谷部拓也さん(比内中同)、菅原詩音さん(大館鳳鳴高2年)、小坂士さん(秋田職業能力開発短大2年の7人。

石田さんは学校給食で出る残飯に対し「SDGs(持続可能な開発目標)の観点から、なくすべき」と問題提起した。「金学期で廃棄はどれだけの量になるか。学校でできることはいろいろある」など述べた。他に「アロハチルドームの有効活用や、多様性の観点を取り入れた街づくりを提案。「大館は少し勢いが足りない。本気で変えよう」と行動しなければ」と締めくくった。

発表者たちはそれぞれ医師を目指す夢、自分の性格を変えられたきっかけをハキハキと述べた。来賓や保護者は真剣な表情で聞き、拍手を送った。